

株式会社 カガコン 環境行動計画

平成 20 年 12 月 25 日

取 組 方 針

株式会社カガコンは、素直で謙虚な心と熱意を持って、コンクリートを中心とした製品の開発、製造、販売に取組み、顧客や地域住民から必要とされる仕事をすることによって、地域社会の発展及び社員の発展へとつなげていくことを経営理念としています。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指してまいります。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動の中での省エネルギー（CO2 排出の削減）と省資源（節水）
- ② 製造部門における廃棄物の削減（産業廃棄物の削減）、事務部門における廃棄物の削減（紙使用量の節減）
- ③ 環境によい製品の使用と開発
- ④ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成 20 年 12 月 25 日

株式会社 カガコン

代表取締役社長 中川 敬雄

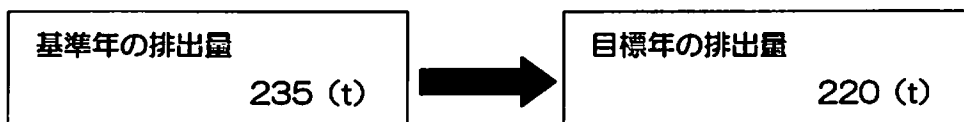
3 環境負荷の低減目標

22.1 22年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。（数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも20年です。）

20.1
【目標1】 二酸化炭素の総排出量を5%削減する



【目標2】 産業廃棄物の排出量を5%削減する



【目標3】 コピー用紙の使用量を5%削減する



【目標4】 水使用量を5%削減する



4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

（製造部門での活動）

- 省エネ診断を受け、エネルギー抑制についての指導を受ける
- 昼休みと休憩時間には、コンプレッサー等、使用していない機械の電源を切る
- コンプレッサーのエアリークを定期的に点検する
- 蒸気養生室の温度を適正温度に設定する
- ボイラーの燃焼時間を適正に設定し、低空気比運転を検討する
- フォークリフト等車両のアイドリングストップと無駄のないアクセル操作を心がける

（事務・営業部門での取組）

- 事務室の空調温度を適正（冷房時28度、暖房時20度）に設定する
- 空調の使用期間中は毎月1回フィルターを清掃する。
- 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- 退社時には必ずパソコンの電源を切る
- エコドライブについての講習を受ける
- 車の空調温度を適正温度に設定する

【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

（産業廃棄物）

- 無駄のない製造を徹底し、コンクリートくず・汚泥の排出量を削減する
- 廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を徹底する
- 品質管理を徹底し、不良品の発生を防ぎ、その発生状況を記録し、掲示する
- ウェス、軍手は使用限度を定め、無駄に廃棄しない

（一般廃棄物）

- ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- 排出する廃棄物の重さを計り、記録する
- 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する
- 製品をできるだけ長期間使用する

【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- 両面印刷、両面コピーを徹底する
- 使用済み用紙の裏面を利用する
- 書類、資料の電子データ化を進める
- 会議におけるペーパーレス化を検討する

【取組4】 水使用量の削減

- 回収水の適切な利用をする。
- 配管からの漏水を定期的に点検する
- 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する
- 洗車用のホースに手元コックを取り付ける

【取組5】 その他の取組

- 毎月、全社員による現場総点検を行い、5Sを徹底する
- 製品、材料、工具は、決められた場所に返却する
- 社員から環境への取組について提案を募集する

5 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、4 半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。

環境活動委員会組織図

